

FUJITSU Thin Client FUTRO

FUTRO L420/L

本書をお読みになる前に

1 本装置の特長

2 各部名称

3 周辺機器

4 ファームウェアの設定

5 お手入れ

6 トラブル
シユーティング

7 仕様

製品ガイド

目次

本書をお読みになる前に	4
安全にお使いいただくために	4
本書の表記	4
商標および著作権について	5
第1章 本製品の特長	
1.1 運用面、セキュリティ面に優れたシンクライアント	7
1.2 製品の盗難防止	8
1.2.1 製品本体の施錠方法	8
第2章 各部名称	
2.1 製品本体前面	10
2.2 製品本体背面	11
2.3 キーボード	12
第3章 周辺機器	
3.1 周辺機器を取り付ける前に	15
3.1.1 注意事項	15
3.2 コネクタの接続／取り外し	16
3.2.1 注意事項	16
3.2.2 ディスプレイコネクタ	16
3.2.3 USBコネクタ	17
3.2.4 オーディオ端子	18
3.2.5 LANコネクタ	18
第4章 ファームウェアの設定	
4.1 オプションの操作のしかた	20
4.1.1 ファームウェアを起動する	20
4.1.2 ファームウェアを終了する	20
4.2 オプションの詳細	21
4.2.1 「設定」メニュー	22
4.2.2 「診断」メニュー	27
4.2.3 「情報」メニュー	28
4.2.4 「ユーザー設定」メニュー	29

第5章 お手入れ

5.1 日常のお手入れ	32
5.1.1 製品本体、キーボード、マウスの表面の汚れ	32

第6章 トラブルシューティング

6.1 トラブル発生時の基本操作	34
6.1.1 状況を確認する	34
6.1.2 トラブルシューティングで調べる	34
6.1.3 インターネットで調べる	35
6.1.4 ファクトリーリセット	35
6.1.5 サポートの窓口に相談する	35
6.2 よくあるトラブルと解決方法	36
6.2.1 トラブル一覧	36
6.2.2 起動・終了時のトラブル	38
6.2.3 ハードウェア関連のトラブル	39
6.3 それでも解決できないときは	44
6.3.1 お問い合わせ先	44

第7章 仕様

7.1 本体仕様	46
7.1.1 L420/L	46
7.2 ディスプレイ	47
7.2.1 解像度	47
廃棄・リサイクル	48
索引	49

本書をお読みになる前に

安全にお使いいただくために

本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が『取扱説明書』に記載されています。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。

本書の表記

本書の内容は2015年5月現在のものです。お問い合わせ先やURLなどが変更されている場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。詳しくは、『取扱説明書』をご覧ください。

■本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
 重要	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。 必ずお読みください。
 POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページを示しています。

■キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例：【Ctrl】キー、【Enter】キー、【→】キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「+」でつないで表記しています。

例：【Ctrl】+【F3】キー、【Shift】+【↑】キーなど

■画面例およびイラスト

本文中の画面およびイラストは一例です。

また、イラストは説明の都合上、形状を簡略化していることがあります。

■周辺機器の使用

使用できる周辺機器については、富士通製品情報ページ (<http://www.fmworld.net/biz/>) 内にある「カタログ」をご覧ください。

使用方法については、周辺機器のマニュアルをご覧ください。

商標および著作権について

Teradici および PCoIP は、米国およびその他の地域における Teradici Corporation の登録商標です。
VMware および VMware View は、米国およびその他の地域における VMware, Inc. の商標または登録商標です。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。
その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright FUJITSU LIMITED 2015

1

第1章

本製品の特長

本製品の特長について説明しています。

1.1 運用面、セキュリティ面に優れたシンクライアント	7
1.2 製品の盗難防止	8

1.1 運用面、セキュリティ面に優れたシンクライアント

本製品は、OSもCPUもストレージも持たない「シンクライアント端末」です。

本製品は、簡単に仮想環境にアクセスができ、セキュリティ性やメンテナンス性が高いことが特長です。一般的なオフィス業務から、高度なグラフィックス処理を伴う業務まで、さまざまな業務にお使いいただけます。

■ セキュリティ、運用

本製品は、OSやCPU、HDDを搭載していないので、情報漏えいやウイルス感染の心配がありません。

また、端末の故障によってデータが消失したり、復旧まで作業できなくなる心配もありません。

■ 接続

仮想デスクトップとの接続に面倒な設定は必要ありません。

ネットワークにつながっている端末から、ID/PWを入れるだけでログインできるので、非常に簡単です。

■ 管理

OSやソフトウェアのアップデートなどを端末ごとに行う必要はありません。

管理者は仮想環境でアップデートをすることで、すべての端末から最新のソフトウェアを使うことができます。

サーバー側を強化するだけでいいので、ビジネス環境に合わせて柔軟に対応できます。

■ 軽快性

本製品は、通信プロトコルPCoIPを使用しているので、従来のシンクライアント端末に比べ、快適に動作します。

最大1920×1200の高解像度で2画面に出力することができるので、作業効率もアップします。

1.2 製品の盗難防止

製品本体を持ち出しできないようにすることで、盗難や紛失の危険から保護します。

1.2.1 製品本体の施錠方法

製品本体の盗難防止用ロック取り付け穴に、盗難防止用ケーブルを取り付けることができます。

盗難防止用ロック取り付け穴の場所については、「2章 各部名称」(→P.9)をご覧ください。

POINT

- ▶ 弊社がお勧めするワイヤーロック／盗難防止用品については、ご購入元にご確認ください。

2

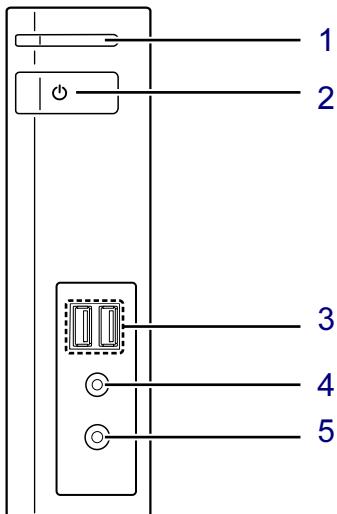
第2章

各部名称

各部の名称と働きについて説明しています。

2.1 製品本体前面	10
2.2 製品本体背面	11
2.3 キーボード	12

2.1 製品本体前面



1 PCoIP LED

LED ランプ	本製品の状態
緑色点灯	PCoIPに接続されています。
消灯	PCoIPに接続されていません。

2 ⏪ 電源ボタン／電源ランプ

- 電源ボタンの操作

電源ボタンの操作	本製品の動作
電源オフ時に短く押す	電源オン
電源オン時に4秒以上押す	電源オフ
仮想デスクトップ接続中に 短く押す	仮想デスクトップ 接続を切断

- 電源ランプの状態

LED ランプ	本製品の状態
緑色点灯	電源オン
緑色点灯	・ RemoteAccess カード接続時 ・ ホスト側が電源オフ状態および 省電力状態の時
消灯	電源オフ

3 ⚡ USB2.0 コネクタ

(→P.17)

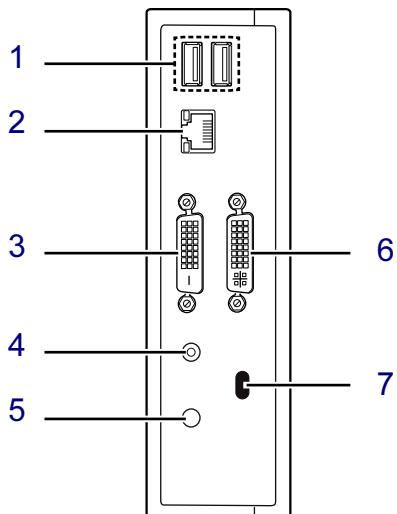
4 ⋆ ヘッドホン端子

(→P.18)

5 ⌘ マイク端子

(→P.18)

2.2 製品本体背面



1 USB2.0 コネクタ
(→P.17)

2 LAN コネクタ
(→P.18)

3 DVI-D コネクタ
(→P.16)

4 スピーカー端子
(→P.18)

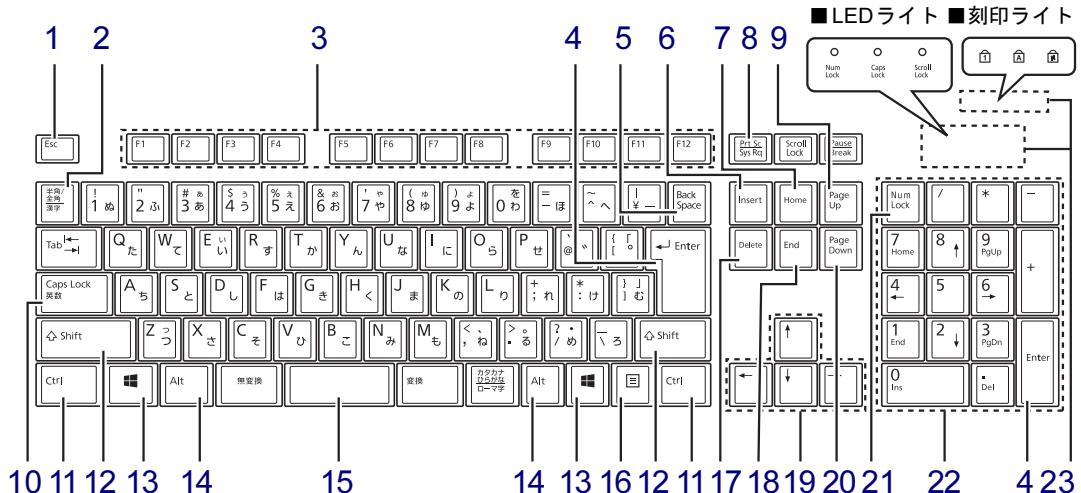
5 DC-IN コネクタ
添付のACアダプタを接続します。

6 DVI-I コネクタ
(→P.16)

7 盗難防止用ロック取り付け穴

2.3 キーボード

対象 キーボード（別売）選択時



(添付のキーボードにより、形状は異なります)

- 1 【Esc】キー
- 2 【半角／全角】キー
日本語入力のオン／オフを切り替えます。
- 3 【F1】～【F12】キー
- 4 【Enter】キー
- 5 【Back Space】キー
- 6 【Insert】キー
- 7 【Home】キー
- 8 【Print Screen】キー
- 9 【Page Up】キー
- 10 【Caps Lock 英数】キー
【Shift】キーを押しながらこのキーを押して、アルファベットの大文字／小文字の入力を切り替えます。
- 11 【Ctrl】キー
- 12 【Shift】キー
- 13 【】(Windows) キー
- 14 【Alt】キー
- 15 【Space】キー

- 16 【】(アプリケーション) キー
ファームウェアでは使用できません。日本語OSの仮想環境に接続した場合のみ使用できます。
マウスの右クリックと同じ役割をします。
- 17 【Delete】キー
- 18 【End】キー
- 19 カーソルキー
- 20 【Page Down】キー
- 21 【Num Lock】キー
テンキーのモードを切り替えます。
- 22 テンキー
「Num Lock」インジケーター点灯時に数字が入力できます。
「Num Lock」インジケーター消灯時にキー下段に刻印された機能が有効になります。

- 23 インジケーター
Num Lock、Caps Lock、Scroll Lock の各機能のオン／オフを表示します。

POINT

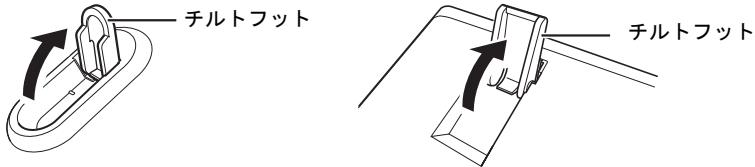
▶キーボードにより、「LED ライト」または「刻印ライト」どちらかのインジケーターになります。
添付のキーボードをご確認ください。

■ キーボードの角度調節

キーボードの底面には、チルトフットが2ヶ所付いています。
チルトフットを起こすと、キーボードに角度をつけることができます。

☞ 重要

- ▶ キーボードにより、チルトフットの形状が異なります。添付のキーボードを確認し、お使いのタイプをご覧ください。



3

第3章

周辺機器

周辺機器の取り付け方法や注意事項を説明しています。

3.1 周辺機器を取り付ける前に	15
3.2 コネクタの接続／取り外し	16

3.1 周辺機器を取り付ける前に

ここでは、周辺機器を取り付ける前に知っておいていただきたいことを説明しています。必ずお読みください。

3.1.1 注意事項

- 本製品に対応している弊社純正品をお使いください。詳しくは、富士通製品情報ページ (<http://www.fmworld.net/biz/>) 内にある「カタログ」をご覧ください。
- お使いになる周辺機器のマニュアルもあわせてご覧ください。
- 電源を切った直後は、製品本体内部が熱くなっています。電源を切り、電源ケーブルを抜いた後、充分に待ってから作業を始めてください。やけどの原因となります。
- 操作に必要な箇所以外は触らないでください。故障の原因となります。
- 一般的には周辺機器の電源を入れてから製品本体の電源を入れ、製品本体の電源を切ってから周辺機器の電源を切ります。ただし、周辺機器によっては逆の順序が必要な場合があります。詳しくは周辺機器のマニュアルをご覧ください。

3.2 コネクタの接続／取り外し

ここでは、周辺機器を接続したり、取り外したりする一般的な方法について説明しています。

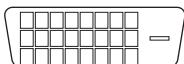
接続する周辺機器やケーブルのマニュアルもあわせてご覧ください。また、それぞれのコネクタの仕様については、「7.1 本体仕様」(→P.46)をご覧ください。

必ず「3.1 周辺機器を取り付ける前に」(→P.15)をお読みになってから作業をしてください。

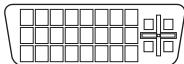
3.2.1 注意事項

- 周辺機器のコネクタの形状によっては、接続できなかつたり、隣接するコネクタに接続された周辺機器と干渉したりする場合があります。周辺機器を接続する前にご確認ください。
- 周辺機器によっては、接続したり取り外したりするときに、コネクタの仕様にかかわらず製品本体の電源を切る必要があるものがあります。詳しくは周辺機器のマニュアルをご覧ください。

3.2.2 ディスプレイコネクタ



DVI-D コネクタ



DVI-I コネクタ

ディスプレイを接続します。製品本体の電源を切ってから接続してください。

☞ 重要

- アナログディスプレイを接続する場合は、別売のDVI-VGA変換アダプタを使用してください。

■ 接続する

- 1 製品本体の電源を切ります。
- 2 ディスプレイコネクタに、ディスプレイのケーブルを接続します。

☞ 重要

- コネクタの形を互いに合わせまっすぐに差し込んでから、コネクタのネジを締めてください。

- 3 ディスプレイの電源を入れてから、製品本体の電源を入れます。

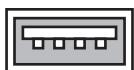
■ 取り外す

◀ 重要

- ▶ 次の場合は、ディスプレイコネクタの接続／取り外しは行わないでください。
表示設定が保持できなくなる可能性があります。
 - ・製品本体の電源が入っている状態
 - ・仮想環境に接続している状態

- 1 製品本体の電源を切ってから、ディスプレイの電源を切ります。
- 2 コネクタのネジを緩め、ケーブルのコネクタをまっすぐに引き抜きます。

3.2.3 USBコネクタ



USB2.0コネクタ

USB対応周辺機器を接続します。製品本体の電源を入れたまま接続、取り外しできます。

■ 接続する

- 1 USBコネクタに、USB対応周辺機器のケーブルを接続します。
コネクタの形を互いに合わせまっすぐに差し込んでください。

■ 取り外す（仮想Windows端末接続時）

- 1 画面右下の通知領域にある「ハードウェアの安全な取り外し」アイコン を右クリックします。
- 2 取り外すデバイスをクリックし、表示されるメッセージに従ってデバイスを停止します。
- 3 ケーブルのコネクタをまっすぐに引き抜きます。

3.2.4 オーディオ端子

オーディオ機器を接続します。製品本体の電源を入れたまま接続、取り外しできます。

◀ 重要

- マイク端子にオーディオ機器を接続したり取り外したりするときは、オーディオ機器の再生音量を小さくするか、再生を停止してください。

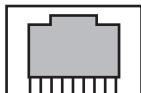
■ 接続する

- ヘッドホン端子またはマイク端子に、オーディオ機器のケーブルを接続します。
まっすぐに差し込んでください。

■ 取り外す

- ケーブルのコネクタをまっすぐに引き抜きます。

3.2.5 LANコネクタ



LANケーブルを接続します。製品本体の電源を入れたまま接続、取り外しできます。ただし、電源を入れたまま接続すると、LANが使用可能になるまで時間がかかる場合があります。
LEDの意味は、次のとおりです。



	上部Activity LED (TX/RX)	下部LINK LED (LINK)
セッション中	データ転送中、緑色に点滅	オレンジ色に点灯
セッション切れ	消灯	消灯

■ 接続する

- LANコネクタにネットワーク機器のケーブルを接続します。
コネクタの形を互いに合わせ、「カチッ」と音がするまでまっすぐに差し込んでください。

■ 取り外す

- コネクタのツメを押さえながら、まっすぐに引き抜きます。

4

第4章

ファームウェアの設定

4.1 オプションの操作のしかた	20
4.2 オプションの詳細	21

4.1 オプションの操作のしかた

ここでは、ファームウェアの起動と終了について説明しています。

4.1.1 ファームウェアを起動する

- 1 本製品の電源ボタン（→P.10）を押し、電源を入れます。
- 2 「オプション」メニューをクリックし、設定したいメニュー項目をクリックします。
選択した項目の設定画面が表示されます。
- 3 各タブで、項目の設定をします。

4.1.2 ファームウェアを終了する

- 1 各タブで項目を設定し、「適用」をクリックします。
- 2 すべての設定が終了したら、「OK」をクリックします。
設定が完了します。
- 3 画面右上の  (閉じるボタン) をクリックして画面を閉じます。

4.2 オプションの詳細

ここでは、ファームウェアのメニューについて説明しています。
ファームウェアのメニューは次のとおりです。

メニュー	説明
設定 (→P.22)	ネットワークなどを設定します。
診断 (→P.27)	簡単な診断メニューです。
情報 (→P.28)	各バージョン情報です。
ユーザー設定 (→P.29)	マウス、キーボードなどの設定です。

4.2.1 「設定」メニュー

■「ネットワーク」タブ

デバイスのネットワーク設定を変更します。

設定項目	初期値	備考
DHCP を有効にする	チェックあり	<ul style="list-style-type: none"> チェックあり： DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得する。 チェックなし：設定を無効にする。
IPアドレス	xxx.xxx.xxx.xxx ^注	<ul style="list-style-type: none"> IPアドレスを指定する。 DHCPを無効にした場合は、本項目の入力は必須。 「DHCPを有効にする」にチェックを付けた場合は、設定不可。
サブネットマスク	xxx.xxx.xxx.xxx ^注	<ul style="list-style-type: none"> サブネットマスクを指定する。 DHCPを無効にした場合、本項目の入力は必須。 「DHCPを有効にする」にチェックを付けた場合は、設定不可。
ゲートウェイ	xxx.xxx.xxx.xxx ^注	<ul style="list-style-type: none"> ゲートウェイアドレスを指定する。 DHCPを無効にした場合、本項目の入力は必須。 「DHCPを有効にする」にチェックを付けた場合は、設定不可。
プライマリ DNS サーバ	xxx.xxx.xxx.xxx ^注	<ul style="list-style-type: none"> プライマリ DNS サーバーの IP アドレスを指定する。 「DHCPを有効にする」にチェックを付けた場合は、設定不可。
セカンダリ DNS サーバ	xxx.xxx.xxx.xxx ^注	<ul style="list-style-type: none"> セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを指定する。 「DHCPを有効にする」にチェックを付けた場合は、設定不可。
ドメイン名	空欄	<ul style="list-style-type: none"> ホストまたはクライアントのドメイン名を入力する。 「DHCPを有効にする」にチェックを付けた場合は、設定不可。
FQDN	—	完全修飾ドメイン名が表示される。
イーサネットモード	オート	LANポートの通信速度を指定する。 「オート」、「100Mbps全二重」、「10Mbps全二重」が指定可能。
802.X Security を有効にする	チェックなし	本製品ではサポートしていません。使用しないでください。
ID	空欄	本製品ではサポートしていません。使用しないでください。
クライアント証明書	空欄	本製品ではサポートしていません。使用しないでください。

注：アドレスは、環境によって変更します。

■「IPv6」タブ

デバイスのIPv6ネットワーク設定を変更します。

設定項目	初期値	備考
IPv6を有効にする	チェックなし	<ul style="list-style-type: none"> チェックあり：IPv6アドレッシングを有効にする。 チェックなし：IPv6アドレッシングを無効にする。
リンクローカルアドレス	—	※この項目は自動で値が決定される。
ゲートウェイ	空欄	IPv6ゲートウェイアドレスを入力する。
DCHPv6を有効にする	チェックあり /64	<ul style="list-style-type: none"> チェックあり：DCHPv6を有効／設定する。 チェックなし：設定を無効にする。
プライマリDNS	空欄	<ul style="list-style-type: none"> プライマリ DNS IP アドレスを入力する。 「IPv6を有効にする」にチェックを付けた場合は、設定不可。
セカンダリDNS	空欄	<ul style="list-style-type: none"> セカンダリ DNS IP アドレスを入力する。 「IPv6を有効にする」にチェックを付けた場合は、設定不可。
ドメイン名	空欄	<ul style="list-style-type: none"> ホストまたはクライアントのドメイン名を入力する。 「IPv6を有効にする」にチェックを付けた場合は、設定不可。
FQDN	—	完全修飾ドメイン名が表示される。
SLAACを有効にする	チェックあり /64	<ul style="list-style-type: none"> チェックあり： ステートレスアドレス自動設定（SLAACv6）を使用して、デバイスのIPv6アドレスを自動設定する。 チェックなし：設定を無効にする。
アドレスの手動設定を有効にする	チェックなし	<ul style="list-style-type: none"> チェックあり：アドレスの手動入力を可能にする。 チェックなし：設定を無効にする。
手動アドレス	空欄	<ul style="list-style-type: none"> アドレスを入力する。 「アドレスの手動設定を有効にする」にチェックを付けた場合は、入力不可。

■「SCEP」タブ

SCPE（Simple Certificate Enrollment Protocol）の証明と証明書の要求をします。

設定項目	初期値	備考
SCEPサーバー URL	空欄	本製品ではサポートしていません。使用しないでください。
チャレンジパスワード	空欄	本製品ではサポートしていません。使用しないでください。
ルートCA証明書	<なし>	本製品ではサポートしていません。使用しないでください。
クライアント証明書	<なし>	本製品ではサポートしていません。使用しないでください。
「証明書の要求」ボタン	—	本製品ではサポートしていません。使用しないでください。
状態	—	本製品ではサポートしていません。使用しないでください。

■「ラベル」タブ

デバイスの識別情報を設定します。

設定項目	初期値	備考
PCoIP デバイス名	(任意の文字列) pcoip-portal-<MAC>	<ul style="list-style-type: none"> ホストまたはクライアントにつける論理名。 「DHCPを有効にする」にチェックを付け、システムがDNSサーバへのホスト名登録をサポートするよう設定されている場合に使用される。
PCoIP デバイスの説明	空欄	デバイスの説明またはその他の情報を入力する。
一般的なタグ	空欄	管理用の汎用タグ情報を入力する。

■「ディスカバリ」タブ

他のPcoIPデバイスを自動検出します。

設定項目	初期値	備考
ディスカバリを有効にする	チェックあり	<ul style="list-style-type: none"> チェックあり： ホスト、をSLP管理エンティティとおして動的に発見する。 チェックなし：設定を無効にする。

■「セッション」タブ

接続先の設定をします（すべての接続をサポートするものではありません）。

設定項目	初期値	備考
接続タイプ	ホストに直接 + SLP ホストのディスカバリ	接続する方式を選択する。 選択できる項目は次のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> 自動接続 ホストに直接（※RemoteAccessカード使用時のみ有効） ホストに直接 + SLPホストのディスカバリ（初期値） (※RemoteAccessカード使用時のみ有効) PCoIP Connection Manager PCoIP Connection Manager + 自動ログイン View Connection Server View Connection Server + 自動ログイン View Connection Server + キオスク View Connection Server + Imprivata OneSign (※サポートしていません。使用しないでください。) 接続管理インターフェイス
「詳細設定」ボタン	—	クリックすると、各接続タイプの高度な設定メニューを表示する。

■「言語」タブ

ユーザーインターフェースの言語を選択します。

設定項目	初期値	備考
言語	日本語	本製品の言語設定を指定する。
キーボードレイアウト	日本語	本製品で使用するキーボードのレイアウトを指定する。

■「電源」タブ

電源設定の変更をします。

設定項目	初期値	備考
スクリーンセーバが表示されるまでの時間	300	<ul style="list-style-type: none"> 秒（0＝無効） オンラインクリーンディスプレイおよび仮想デスクトップに接続されたディスプレイが、低電力モードに入るまでの秒数（10～9999）を設定する。
画面表示を消すまでの時間	0	<ul style="list-style-type: none"> 秒（0＝無効） 仮想デスクトップに接続されたディスプレイが、低電力モードに入るまでの秒数（10～14440）を設定する。

■「ディスプレイ」タブ

モニタが検出されないときにデフォルトEDIDを返します。

※ モニタのEDID情報が正しく取得できている場合は、本設定は変更しないでください。

モニタが表示に対応していない設定を適用すると、画面が表示されなくなります。

設定項目	初期値	備考
接続ディスプレイオーバーライドを有効にする	チェックなし	<ul style="list-style-type: none"> チェックあり： モニタが検出できない場合やモニタがクライアントに接続されていない場合に、デフォルトEDID情報をホストに送信するようにクライアントを設定する。 チェックなし：設定を無効にする。
ネイティブ解像度のオーバーライドを有効にする	チェックなし	<ul style="list-style-type: none"> チェックあり：初期（優先）解像度の設定を行う。 チェックなし：設定を無効にする。
ネイティブ解像度1	デフォルト=1024×768	DVI1側の初期解像度を指定する。
ネイティブ解像度2	デフォルト	DVI2側の初期解像度を指定する。
画面のクローン作成を有効にする	チェックなし	<ul style="list-style-type: none"> チェックあり：DVI1とDVI2に同一画面を出力する。 チェックなし：設定を無効にする。

■「アクセス」タブ

管理アクセス設定を変更します。

設定項目	初期値	備考
管理コンソールのインターフェイスを無効にする	チェックなし	<ul style="list-style-type: none"> ・ チェックあり： 本製品の管理コンソールインターフェイスを無効化し、管理コンソール（Management Console）で管理できなくなる。 ・ チェックなし：管理コンソールで管理できる。
管理Webインターフェイスを無効にする	チェックなし	<ul style="list-style-type: none"> ・ チェックあり： 本製品は管理Webインターフェイスからのアクセスを拒否し、管理Webインターフェイスでの管理をできなくなる。 ・ チェックなし： 管理Webインターフェイスで管理できる。
次回のログイン時にパスワード変更を強制する	チェックなし	<ul style="list-style-type: none"> ・ チェックあり： 次回ログインするときに、管理Webインターフェイスや、本製品の設定画面のパスワードの変更を必須にする。 ・ チェックなし： 次回のログインパスワードの変更をしない。

■「オーディオ」タブ

オーディオの入力機器と出力機器を選択します。

設定項目	初期値	備考
ローカルUSBオーディオドライバを有効にする	チェックあり	本製品ではサポートしていません。使用しないでください。
接続タイプ	USB	本製品ではサポートしていません。使用しないでください。
優先USB機器ベンダーID	0000	本製品ではサポートしていません。使用しないでください。
優先USB機器製品ID	0000	本製品ではサポートしていません。使用しないでください。
接続タイプ	USB	本製品ではサポートしていません。使用しないでください。
優先USB機器ベンダーID	0000	本製品ではサポートしていません。使用しないでください。
優先USB機器製品ID	0000	本製品ではサポートしていません。使用しないでください。

■「リセット」タブ

デバイスに保存した構成と許可設定をすべてリセットします。

設定項目	初期値	備考
パラメータをリセットする	—	「リセット」ボタンをクリックすると、本製品の設定を工場出荷時設定に戻す。

4.2.2 「診断」メニュー

■「イベントログ」タブ

イベントログのメッセージを表示します。

設定項目	備考
「更新」ボタン	クリックすると、イベントログを最新の情報に更新する。
「クリア」ボタン	クリックすると、イベントログの内容をクリアする。

■「セッション統計値」タブ

前セッションの統計（送受信パケット、送受信バイト、レイテンシ（遅延時間）情報など）を表示します。

■「PcIPプロセッサ」タブ

ブート（起動）後の経過時間を表示します。
電源を切ると、初期化されます。

■「Ping」タブ

ホストがネットワーク上でアクセス可能か確認します。

設定項目	初期値	備考
対象ホスト	空欄	Pingを発信する宛先アドレスまたはDNS名を指定する。
間隔	1	Pingを発信する間隔（秒）を指定する。
パケットサイズ	32	Pingパケットのサイズ（バイト）を指定する。
パケット	—	送受信パケットの数が表示される。
「スタート」ボタン	—	クリックすると、Ping送信を開始する。
「停止」ボタン	—	クリックすると、Ping送信を停止する。

4.2.3 「情報」メニュー

■「バージョン」タブ

ハードウェアとファームウェアのバージョン情報を表示します。

設定項目	初期値	備考
MACアドレス	(任意の文字列)	本製品のMACアドレスが表示される。
UUID	(任意の文字列)	本製品のUUID情報が表示される。
シリアル番号	(任意の文字列)	本製品のシリアル番号が表示される。
ファームウェア部品番号	(任意の文字列)	ファームウェアの部品番号が表示される。
ハードウェア・バージョン	(任意の文字列)	ハードウェアの版数が表示される。
ファームウェア・バージョン	(任意の文字列)	ファームウェアの版数が表示される。
ファームウェアのビルド	(任意の文字列)	ファームウェアのビルド番号が表示される。
ファームウェアのビルド日付	(任意の文字列)	ファームウェアのビルド日付が表示される。
PCoIPプロセッサファミリ	Tera2	PCoIPプロセッサ名が表示される。
PCoIPプロセッサリビジョン	(任意の文字列)	プロセッサのリビジョンが表示される。
ブートローダー・バージョン	(任意の文字列)	ブートローダーFWのバージョンが表示される。
ブートローダーのビルド	(任意の文字列)	ブートローダーのビルト番号が表示される。
ブートローダーのビルド日付	(任意の文字列)	ブートローダーのビルド日付が表示される。

4.2.4 「ユーザー設定」メニュー

■「証明書」タブ

設定項目	初期値	備考
証明書確認モード	信頼できないサーバに接続する前に警告する	サーバーへの接続が安全かどうか検証できない場合の処理を指定する。

■「マウス」タブ

マウスカーソルの移動速度を調整します。

設定項目	初期値	備考
マウス速度	左（遅く）から5番目	マウスカーソルの移動速度を調整する。

■「キーボード」タブ

キーボードの文字リピート速度を設定します。

設定項目	初期値	備考
キーボードのリピート遅延時間	一番右（短く）	文字を押したままにしたときに、繰り返しを開始するまでの時間を設定する。
キーボードのリピート率	右（速く）から2番目	文字を押したままにしたときに、繰り返す速度を設定する。
リピート設定テストボックス	—	選択したキーボード設定をテストする場合にこのボックスに入力する。

■「画質」タブ

設定項目	初期値	備考
画質の設定	50	より低い品質レベルでより高いフレームレートを生成する場合は、スライダを「滑らかな動き（左側）」の方向に移動する。 より高い品質レベルでより低いフレームレートを生成する場合は、スライダを「シャープなイメージ（右側）」の方向に移動する。 ※サーバーの設定によっては、この設定が反映されないことがあります。

■「ディスプレイのトポロジ」タブ

ディスプレイの位置、回転、解像度を設定します。

設定項目	初期値	備考
設定を有効にする	チェックあり	2台のディスプレイをサポートする場合はこの設定を有効にする。
レイアウト	水平	接続しているディスプレイのレイアウトを指定する。
表示位置合わせ	水平：上 縦：左	接続している2台のディスプレイの大きさが異なる場合の配置方法を指定する。 選択できる項目は次のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> ・上：ディスプレイを上側で揃える場合に選択 ・中央：ディスプレイを画面中央で揃える場合に選択 ・下：ディスプレイを下側で揃える場合に選択 ・左：ディスプレイを左側で揃える場合に選択 ・右：ディスプレイを右側で揃える場合に選択
プライマリ	1	主で使うポート（プライマリポート）を指定。
(ポート1設定)	A、回転なし、 ネイティブ	<ul style="list-style-type: none"> ・各ポートに接続するモニタ（A／B）を指定する。 ・モニタの画面を回転させるか指定する。 ・モニタの解像度を指定する。
(ポート2設定)	B、回転なし、 ネイティブ	<ul style="list-style-type: none"> ・各ポートに接続するモニタ（A／B）を指定する。 ・モニタの画面を回転させるか指定する。 ・モニタの解像度を指定する。
「戻す」ボタン	—	クリックすると、設定を戻す。

■「タッチスクリーン」タブ

設定項目	初期値	備考
長押しによる右クリックを有効にする	チェックなし	本製品ではサポートしていません。使用しないでください。
右クリックまでの時間	右（短く）から2番目	本製品ではサポートしていません。使用しないでください。
タッチスクリーンのキャリブレーション	—	本製品ではサポートしていません。使用しないでください。

■「タブレット」タブ

設定項目	初期値	備考
「デスクトップ」ボタン	—	本製品ではサポートしていません。使用しないでください。

5

第5章

お手入れ

快適にお使いいただくためのお手入れ方法を説明しています。

5.1 日常のお手入れ	32
-------------------	----

5.1 日常のお手入れ

製品本体や周辺機器を長時間ご使用になると、汚れが付いたり、ほこりがたまつります。ここでは、日常のお手入れのしかたを説明しています。

5.1.1 製品本体、キーボード、マウスの表面の汚れ

乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

汚れがひどい場合は、水または水で薄めた中性洗剤を含ませた布を、固く絞って拭き取ってください。中性洗剤を使用して拭いた場合は、水に浸した布を固く絞って中性洗剤を拭き取ってください。

重要

- ▶ 拭き取るときは、内部に水が入らないよう充分に注意してください。
- ▶ シンナーやベンジンなど揮発性の強いものや、化学ぞうきんは使わないでください。損傷する原因となります。

■ キーの間のほこり

キーボードのキーの間のはこりは、柔らかいブラシなどを使って取り除いてください。

重要

- ▶ ゴミは吹き飛ばして取らないでください。キーボード内部にゴミが入り、故障の原因となります。
- ▶ 掃除機などを使って、キーを強い力で引っ張らないでください。
- ▶ 毛先が抜けやすいブラシは使用しないでください。キーボード内部にブラシの毛などの異物が入り、故障の原因となります。

6

第6章

トラブルシューティング

おかしいなと思ったときや、わからないことがあつたときの対処方法について説明しています。

6.1 トラブル発生時の基本操作	34
6.2 よくあるトラブルと解決方法	36
6.3 それでも解決できないときは	44

6.1 トラブル発生時の基本操作

トラブルを解決するにはいくつかのポイントがあります。トラブル発生時に対応していただきたい順番に記載しています。

6.1.1 状況を確認する

トラブルが発生したときは、直前に行った操作や現在の製品の状況を確認しましょう。

■ メッセージなどが表示されたら控えておく

画面上にメッセージなどが表示されたら、メモ帳などに控えておいてください。マニュアルで該当するトラブルを検索する場合や、お問い合わせのときに役立ちます。

■ 製品や周辺機器の電源を確認する

電源が入らない、画面に何も表示されない、ネットワークに接続できない、などのトラブルが発生したら、まず製品や周辺機器の電源が入っているか確認してください。

- 電源ケーブルや周辺機器との接続ケーブルは正しいコネクタに接続されていますか？また緩んだりしていませんか？
- 電源コンセント自体に問題はありませんか？
他の電器製品を接続して動作するか確認してください。
- OAタップを使用している場合、OAタップ自体に問題はありませんか？
他の電器製品を接続して動作するか確認してください。
- 使用する装置の電源はすべて入っていますか？
ネットワーク接続ができなくなった場合は、ネットワークを構成する機器（サーバー本体やハブなど）の接続や電源も確認してください。
- キーボードの上にものを載せていませんか？
キーが押され、製品が正常に動作しないことがあります。
このほか、「6.2.2 起動・終了時のトラブル」(→P.38) の「電源が入らない」、「画面に何も表示されない」もあわせてご覧ください。

6.1.2 トラブルシューティングで調べる

「6.2 よくあるトラブルと解決方法」(→P.36) は、よくあるトラブルの解決方法が記載されています。発生したトラブルの解決方法がないかご覧ください。

6.1.3 インターネットで調べる

よくあるQA一覧ページ (<http://www.fmworld.net/biz/fmv/support/qalist/index.html>) では、本製品で発生したトラブルの解決方法を提供しています。

また、富士通製品情報ページ (http://www.fmworld.net/biz/fmv/index_support.html) では、本製品に関連したサポート情報を提供しております。

注意事項や補足情報も公開していますので、解決方法がないかご覧ください。

6.1.4 ファクトリーリセット

ご購入時の設定に戻す機能です。ライセンスや管理設定を除くすべての設定およびファイルが削除されます。シンクライアントがローカルで構成されている環境で構成エラーが発生した場合のトラブルシューティングとして役立ちます。

ご購入時の設定に戻すには、「4.2.1 「設定」メニュー」の「■ 「リセット」タブ」(→P.26)をご覧ください。

6.1.5 サポートの窓口に相談する

本章をご覧になり、トラブル解決のための対処をした後も回復しない場合には、「6.3 それでも解決できないときは」(→P.44) をご覧になりサポートの窓口に相談してください。

6.2 よくあるトラブルと解決方法

6.2.1 トラブル一覧

■ 起動・終了時のトラブル

- 「電源が入らない」(→P.38)
- 「画面に何も表示されない」(→P.38)
- 「ファームウェアが動かなくなってしまい、電源が切れない」(→P.38)

■ ハードウェア関連のトラブル

□ LAN

- 「ネットワークに接続できない」(→P.39)
- 「通信速度が遅い」(→P.39)
- 「「ネットワーク接続が半二重です」というメッセージが表示される」(→P.39)
- 「「ネットワーク接続が失われました」というメッセージが表示される」(→P.39)
- 「RemoteAccess カード使用時にSLPディスカバリが正常に動作しない。」(→P.40)

□ ディスプレイ

- 「画面に何も表示されない」(→P.40)
- 「表示が乱れる」(→P.40)
- 「仮想デスクトップで「画面の解像度」の設定を変更すると、正しい大きさの表示にならない」(→P.40)
- 「画面の解像度を「800×600」や「640×480」にすると「OK」や「キャンセル」ボタンが画面からはみ出る」(→P.40)
- 「マルチモニタ実施時に、電源を入れたままDVIの接続／取り外しをすると、ディスプレイの設定が変わる」(→P.41)
- 「ファームウェアのオプションでクローン表示に設定すると、ゲストOS接続時にプライマリディスプレイのみ表示される」(→P.41)
- 「仮想環境で画面表示に遅れや乱れが発生し、操作がうまくできなくなる」(→P.41)

□ サウンド

- 「スピーカーから音が出ない、音が小さい、または音が割れる」(→P.42)
- 「スピーカーとヘッドホンの両方に接続すると、両端子から音が出る」(→P.42)
- 「マイクからうまく録音ができない」(→P.42)

□ ポインティングデバイス

- 「マウスポインターが動かない、正しく動作しない」(→P.42)

□ USB

- 「USBデバイスが使えない」(→P.43)

□ プリンター

- 「プリンターを使用できない」（→P.43）

□ その他

- 「「ジー」「キーン」という音がする」（→P.43）

6.2.2 起動・終了時のトラブル



電源が入らない

- ACアダプタは接続されていますか？
- 電源スイッチのあるOAタップをお使いの場合、OAタップの電源は入っていますか？



画面に何も表示されない

- 電源ランプが点灯していますか？
電源ボタンを押して動作状態にしてください。それでも、画面が表示されない場合は「電源が入らない」（→P.38）をご覧ください。
- ディスプレイに関して、次の項目を確認してください。
 - ・ディスプレイケーブルのコネクタのピンが破損していないませんか？
 - ・ディスプレイのブライトネス／コントラストボリュームは、正しく調節されていますか？
 - ・デジタルディスプレイや複数台のディスプレイを接続している場合、製品本体の電源を入れる前に、ディスプレイの電源を入れていますか？必ず製品本体の電源を入れる前にディスプレイの電源を入れてください。
製品本体の電源を入れた後にディスプレイの電源を入れると、画面が表示されないことがあります。そのような場合は、いったん電源を切ってから入れ直してください。



ファームウェアが動かなくなってしまい、電源が切れない

- 電源ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

6.2.3 ハードウェア関連のトラブル

■ LAN



ネットワークに接続できない

- ネットワークケーブルは正しく接続されていますか？
- ネットワークケーブルに関して、次の項目を確認してください。
 - ・ケーブルのコネクタやケーブルは損傷していませんか？
 - ・使用するネットワーク環境に合ったケーブルをお使いください。

ネットワークの設定については、ネットワーク管理者に確認してください。



通信速度が遅い

- ネットワーク機器の電源を入れてから本製品の電源を入れてください。また、本製品をご使用中にLANケーブルを抜いたり、ネットワーク機器の電源をオフにしたりしないでください。

ネットワーク機器との接続ができなくなったり、通信速度が極端に低下したりする場合があります。

例：1Gbpsで通信していたのに10Mbpsの速度になる

ネットワーク機器との接続ができない場合は、ネットワーク機器の電源が入っていること、およびLANケーブルで本製品とネットワーク機器が接続されていることを確認後、製品本体を起動してください。



「ネットワーク接続が半二重です」というメッセージが表示される

- ネットワークの接続や設定を確認してください。
 - ・使用するネットワーク環境に合ったLANケーブルをお使いください。
 - ・LANケーブルのコネクタやLANケーブルが損傷していないか確認してください。
 - ・本製品の設定に一致するようにHUBの通信モードを設定してください。
- 製品の設定を確認してください。
「4.2.1 「設定」メニュー」の「■ 「ネットワーク」タブ」(→P.22) で、「イーサネットモード」の通信モードの設定とHUB側の通信モードの設定が一致しているか確認してください。



「ネットワーク接続が失われました」というメッセージが表示される

- ネットワークの接続や設定を確認してください。
 - ・使用するネットワーク環境に合ったLANケーブルをお使いください。
 - ・LANケーブルのコネクタやLANケーブルが損傷していないか確認してください。



RemoteAccess カード使用時にSLPディスカバリが正常に動作しない。

- ホストサーバー側の本体の電源を入れてください。
- ネットワークの接続や設定を再度確認してください。(SLPパケットが正常に通るHUBを準備してください。)

■ ディスプレイ



画面に何も表示されない

- 「6.2.2 起動・終了時のトラブル」(→P.38) の「電源が入らない」、「画面に何も表示されない」をご覧ください。



表示が乱れる

- 解像度、発色数、リフレッシュレートが正しく設定されていますか?
「4.2.4 「ユーザー設定」メニュー」の「■ 「ディスプレイのトポロジ」タブ」(→P.30)をご覧になり、正しく設定してください。
外部ディスプレイの場合は、外部ディスプレイのマニュアルをご覧ください。
- 近くにテレビなどの強い磁界が発生するものはありませんか?
強い磁界が発生するものは、ディスプレイや製品本体から離して置いてください。



仮想デスクトップで「画面の解像度」の設定を変更すると、正しい大きさの表示にならない

- 画面の解像度の設定を、「4.2.4 「ユーザー設定」メニュー」の「■ 「ディスプレイのトポロジ」タブ」(→P.30) で行ってください。



画面の解像度を「800×600」や「640×480」にすると「OK」や「キャンセル」ボタンが画面からはみ出る

- 本製品のファームウェアのメニューは、「1024×768」未満の解像度はサポートしておりません。
設定してしまった場合は、20秒経過すると元の解像度に戻りますので、そのままお待ちください。
- 解像度を「800×600」以下に設定してしまった場合は、次のいずれかの方法で設定を解除し、「1024×768」以上の解像度に変更してください。
 - ・「ディスプレイオーバーライド機能を有効にする」のチェックを付け、「はい」をクリックします。

- ・電源を切りもう一つのコネクタにディスプレイを接続します。一度電源を入れ、正常に起動できることを確認します。
- 再度電源を切り、最初のコネクタにディスプレイを接続しなおします。
- これで復旧することができます。



マルチモニタ実施時に、電源を入れたままDVIの接続／取り外しをすると、ディスプレイの設定が変わる

- 元の設定に戻す場合は、「4.2.4 「ユーザー設定」メニュー」の「■ 「ディスプレイのトポロジ」タブ」(→P.30) で「主要」のタブを切り替えて適切な設定に合わせてください。
- 電源を入れたままディスプレイコネクタ（DVI端子）の接続／取り外しは、絶対にしないでください。

製品本体やディスプレイが壊れるおそれがあります。



ファームウェアのオプションでクローン表示に設定すると、ゲストOS接続時にプライマリディスプレイのみ表示される

- 本製品の仕様です。動作上問題ありませんので、そのままお使いください。



仮想環境で画面表示に遅れや乱れが発生し、操作がうまくできなくなる

- ネットワークの帯域の占有、遅延などが発生している可能性があります。

次の例は、ネットワークの帯域、遅延の許容の目安です。

【例1】画面表示を簡略化したWindows7^(注) で、文章作成、表計算をする場合

(画面表示を簡略化する設定^(注) で、画面表示の切り替えがあまり頻繁でない作業)

帯域幅：250kbps以上、遅延：100ms以下 [シンクライアント1台あたり]

注：仮想環境の画面表示の簡略化

帯域が不足して操作性に問題が出る場合、仮想環境（仮想OS）の画面表示設定を次のように変更することで、使用する帯域をある程度抑えることができます。

- ・壁紙を使用しない
- ・ウインドウ描画の効果（エフェクト）を使用しない
- ・OSの視覚効果をパフォーマンス優先に設定する

【例2】標準の画面表示設定を使用したWindows 7やWindows 8.1で、文章作成、表計算やプレゼンテーション資料の作成をする場合

帯域幅：2Mbps以上、遅延：100ms以下 [シンクライアント1台あたり]

重要

- お客様の用途や使用している製品の台数によっては、これらの目安とは異なるネットワーク環境を構築する必要があります。
- 特に次の場合には、目安より広い帯域や、遅延時間の短縮が要求されます。
 - ・「大きなウィンドウを早く動かす」、「大きな画像をスライドショーで表示する」、「動画を再生する」など、短時間で急激な画面表示の切り替えが必要な場合
 - ・帯域幅以外の要因で、パケットの損失やパケット入れ替えが発生しうるネットワーク環境の場合
 - ・ネットワーク帯域の使用率が8割を超えるような、帯域に余裕が無い環境の場合
 - ・製図作業や画像編集など、マウス操作が遅くなると支障が生じる作業を行う場合

■ サウンド



スピーカーから音が出ない、音が小さい、または音が割れる

- 外付けスピーカーに関して、次の項目を確認してください。
 - ・製品本体と正しく接続されていますか？
 - ・スピーカーの電源ケーブルは接続されていますか？
 - ・スピーカーの電源ボタンは入っていますか？
 - ・音量ボリュームは正しく調節されていますか？
 - ・ヘッドホン端子にヘッドホン（または他のデバイス）が接続されていませんか？
- 音が割れる場合は、音量を小さくしてください。
- 仮想デスクトップの音量を設定する項目から、適切なデバイスを選択してください。



スピーカーとヘッドホンの両方に接続すると、両端子から音がが出る

- 本製品の仕様です。そのままお使いください。



マイクからうまく録音ができない

- 仮想デスクトップの音量を設定するウィンドウで録音を有効にし、音量を調整してください。
 - 仮想デスクトップに「Teradici Virtual Audio Driver」をインストールしてください。
「Teradici Virtual Audio Driver」は、Teradici ホームページ (<http://techsupport.teradici.com/link/portal/15134/15164/Article/1434/Teradici-Virtual-Audio-Driver-1-2-0-Release-Details-15134-14>)よりダウンロードできます。
- なお、使用するには必ず事前のシステム検証を行ってください。

■ ポイントティングデバイス



マウスポインターが動かない、正しく動作しない

- マウスは正しく接続されていますか？
- キーボードは正しく接続されていますか？
- オプティカルセンサー部分が汚れていませんか？（光学式マウスおよびレーザー式マウスの場合）
オプティカルセンサー部分をクリーニングしてください。
- 次のようなものの上で操作していませんか？（光学式マウスおよびレーザー式マウスの場合）
 - ・鏡やガラスなど反射しやすいもの
 - ・光沢のあるもの
 - ・濃淡のはっきりしたしま模様や柄のもの（木目調など）
 - ・網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの

■ USB



USBデバイスが使えない

- ケーブルは正しく接続されていますか？
- USBデバイスがUSBハブを経由して接続されていませんか？
USBハブを経由すると問題が発生する場合があります。USBデバイスを本体のUSBコネクタに直接接続してみてください。
- USBデバイスに不具合はありませんか？
USBデバイスに不具合がある場合、OSが正常に動作しなくなることがあります。
製品を再起動して、USBデバイスを接続し直してみてください。それでも正常に動作しない場合は、USBデバイスのご購入元にご連絡ください。

■ プリンター



プリンターを使用できない

- プリンターはご使用になれません。

■ その他



「ジー」「キーン」という音がする

- 静かな場所では、「ジー」「キーン」という製品本体内部の電子回路の動作音が聞こえる場合があります。
故障ではありませんので、そのままお使いください。

6.3 それでも解決できないときは

6.3.1 お問い合わせ先

■ 弊社へのお問い合わせ

故障かなと思われたときや、技術的なご質問・ご相談などについては、『取扱説明書』をご覧になり、弊社までお問い合わせください。

7

第7章

仕様

本製品の仕様を記載しています。

7.1 本体仕様	46
7.2 ディスプレイ	47

7.1 本体仕様

7.1.1 L420/L

製品名称		FUTRO L420/L
プロセッサー		TERA2321
メインメモリ		512MB (オンボード) ECCなし
表示機能	解像度	最大1920×1200 ドット
通信機能	LAN	1000BASE-T／100BASE-TX／10BASE-T準拠 ^{注1}
セキュリティ機能	盗難防止用ロック取り付け穴	あり
インターフェース	DVI-I	29ピン×1
	DVI-D	24ピン×1
USB ^{注2}	USB2.0準拠×4 (前面×2、背面×2) ^{注3}	
	LAN	RJ-45×1
オーディオ	ヘッドホン	φ3.5mmステレオ・ミニジャック×1 ^{注4}
	マイク	φ3.5mmステレオ・ミニジャック×1
	スピーカー	φ3.5mmステレオ・ミニジャック×1 ^{注4}
電源供給方式	ACアダプタ ^{注5}	入力AC100V～240V、出力DC12V (3.0A)
消費電力 ^{注6} (最大時)		約5W (約44W)
外形寸法 (突起部含まず)		W 44×D 133×H 149 mm
質量	約0.62kg	
電波障害対策	VCCIクラスB	
温湿度条件	温度10～35℃／湿度20～80%RH (動作時) 温度-10～60℃／湿度20～80%RH (非動作時) (ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと)	

本製品の仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
必ず仮想環境の事前検証を行ってください。

注1：・100Mbpsは100BASE-Tの理論上の最高速度であり、実際の通信速度はお使いの機器やネットワーク環境により変化します。

・100Mbpsの通信を行うためには、100BASE-Tに対応したハブが必要となります。また、LANケーブルには、1000BASE-Tに対応したエンハンスドカテゴリー5（カテゴリー5E）以上のLANケーブルを使用してください。

注2：すべてのUSB対応周辺機器の動作を保証するものではありません。

注3：外部から電源が供給されないUSB対応周辺機器を接続するときの消費電流の最大容量は、1ポートにつき500mAです。
詳しくは、USB対応周辺機器のマニュアルをご覧ください。

注4：ヘッドホン端子とスピーカー端子は連動しています。

注5：矩形波が出力される機器（UPS（無停電電源装置）や車載用DC/AC電源など）に接続されると故障する場合があります。

注6：・当社測定基準によります。

・電源オフ時の消費電力は、約0.7Wです。

電源オフ時の消費電力を0にするには、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

7.2 ディスプレイ

7.2.1 解像度

本製品が出力可能な解像度です。

お使いのディスプレイが対応している解像度のみ表示できます。お使いのディスプレイのマニュアルをご覧になり、表示可能な解像度を確認してください。

解像度	対応	水平走査周波数 (kHz)	リフレッシュレート (Hz)
1024×768	○	48.4	60
1280×1024	○	64	60
1440×900	○注	55.9	60
1600×1200	○	75.0	60
1680×1050	○注	65.3	60
1920×1080	○注	67.5	60
1920×1200	○注	74.0	60

注：お使いの外部ディスプレイのパネルの解像度と一致している場合のみ表示できます。

重要

- ▶ 解像度の設定は「ディスプレイのトポロジ」タブ（→P.30）で行ってください。仮想OSの解像度設定を変更すると画面が乱れる場合があります。

廃棄・リサイクル

■ 本製品の廃棄について

- 本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。
 - ・法人、企業のお客様へ
本製品の廃棄については、弊社ホームページ「IT製品の処分・リサイクル」(<http://www.fujitsu.com/jp/about/environment/society/products/recycleinfo/>)をご覧ください。

索引

L

LANコネクタ 18

U

USBコネクタ 17

あ行

オーディオ端子 18

お問い合わせ先 44

か行

解像度 47

キーボード

　ーお手入れ 32

た行

ディスプレイ

　ー解像度 47

ディスプレイコネクタ 16

盗難防止用ロック 8

は行

廃棄 48

ファームウェア

　ー起動する 20

　ー終了する 20

ヘッドホン端子 18

ま行

マイク端子 18

マウス

　ーお手入れ 32

ら行

リサイクル 48

Memo

FUTRO
L420/L

製品ガイド
B5FK-6131-01-00

発行日 2015年6月
発行責任 富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権および
その他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。